

特集

ブラジル

特集にあたって

ブラジルへ最初の日本移民が渡ったのは1908年で、今からちょうど100年前になる。移民100周年を記念するさまざまなイベントが、政府や日系社会のほか多くの地方自治体や民間・市民団体などにより、ブラジルと日本の双方で開催されている。一方、未来に向かって両国の結びつきを強めるこ

とを目的に、2008年は政府レベルにおいて「日本ブラジル交流年」と位置づけられている。本特集は両国間の交流の活性化に寄与すべく、「Brasis」（「ブラジル」の複数形）と形容されるほど多様なブラジルの中から、貧困、農業、労働に関する三つの“ブラジル”を紹介する。

近田亮平



「日本ブラジル交流年」のイメージ・キャラクターを発表するルーラ大統領（右）。左側はその考案者。（2008年1月17日）